

愛媛県教育委員会高校教育課長 様

愛媛県立新居浜南高等学校長 村上敏之 印

担当者職・氏名 教諭 河野 義知

1 主題

別子銅山 別子銅山 近代化産業遺産を生かした地域活性化プロジェクト
～ESD(持続発展可能な地域づくりの学び)の充実・発展を目指して～

2 主題設定の理由

工業都市である新居浜の基礎づくりに大きく貢献した別子銅山。先人たちの偉業や体験者の記憶の継承、残された近代化産業遺産の意義を後世に残し、地域の活性化に生かしていくために、地域・企業・行政・学校などと連携・協働する。また、それらの活動の中で、シビックプライドを高め、未来の地域人としての育成を図るとともに、ESD(持続発展可能な地域づくりの学び)のサイクル構築に努めたい。

3 実施計画

[ ]:主催、無いものは本校主催 ( ):実施場所

Table with 2 columns: 月 (Month) and 事業の具体的内容 (Specific Content of the Project). It lists various activities from April to July, including field trips, lectures, and community events related to the Besshi Copper Mountain project.

	<p>新居浜ユネスコ寄席～つなげよう平和の心～（市民文化センター）  平成26年度愛媛県高等学校新規採用教員現地研修会 教員7名（ユネスコ部員が案内）  新居浜生涯学習大学講座『十代が語ります！』[市生涯学習センター]  「高校生が出逢った福岡・八幡製鉄所、田川市石炭・歴史博物館、大分・鯛生金山」20名受講  平和の鐘を鳴らそう パネル展示 [新居浜ユネスコ協会]（イオンモール新居浜店）  今治北高校大三島分校、今治北高校、本校の三校合同現地交流学习会（今治市大三島）</p>
8	<p>新居浜ユネスコ協会 第5回平和の鐘を鳴らそう（イオンモール新居浜店）  「別子銅山パネル展 in しまなみ」ワークショップ、パネルガイド [愛媛県東予地方局]（村上水軍博物館）  石見銀山現地研修（世界遺産センター、大久保間歩、龍源寺間歩、大森地区等）  平成26年度別子銅山Jrマイスター養成講座 適性審査会 [愛媛県東予地方局]（同所）  「天空から新居浜発見物語」展 [新居浜まちおこし委員会]（新居浜市郷土美術館）  「世界に羽ばたけ市乃川の輝安鉱シンポジウム」[西条市]（JA西条会館はなゆい）  平成26年度別子銅山Jrマイスター認定証授与式 [愛媛県東予地方局]（同所）  別子大水害犠牲者慰霊式 [別子銅山の歴史を学ぶ会]（瑞応寺）  別子銅山の歴史を学ぶ会「別子大水害について」（マイントピア別子）  新居浜生涯学習大学講座『十代が語ります！』[市生涯学習センター]  「銅山人の詩（網干一義さん、門田行雄さん）」（市民文化センター視聴覚室）30名受講</p>
9	<p>第7回あかがねの道スタディーツアー打ち合わせ会（愛媛県東予地方局・せとうち観光社）  第7回あかがねの道スタディーツアー事前研修会・朝日新聞取材（東平地区）  別子銅山の歴史を学ぶ会「①四国の地質と別子鉱床②金の生成と金鉱床 皆川鉄雄（愛媛大学理学部教授）」  別子銅山を学ぶ会「報道写真家 三留理男氏をお迎えして」（マイントピア別子）  別子銅山を読む「小倉正恒」坪井利一郎氏 [別子銅山記念図書館]（同所）</p>
10	<p>中国人殉難者慰霊祭 [日中友好協会]（瑞応寺）  第25回ESD 中学高校連携事業「別子銅山を学ぼう！」新居浜市立中萩中学校 1年生187名  ふるさとお宝探検・大物産産業展 [新居浜市・新居浜青年会議所]（山根グラウンド）  第7回あかがねの道スタディーツアー打ち合わせ会（愛媛県東予地方局・せとうち観光社）  創立50周年記念ウォークラリー下見および安全点検①  第26回ESD 中学高校連携事業「別子銅山を学ぼう！」新居浜市立東中学校 1年生136名  創立50周年記念ウォークラリー下見および安全点検②  創立50周年記念ウォークラリー事前学習会（全校生徒対象）  創立50周年記念ウォークラリー（全員登山完了）</p>
11	<p>創立50周年記念文化祭  1年次生 産業社会と人間「新居浜の歴史と産業」授業内で研究発表  ユネスコスクール世界大会（岡山大学）  広瀬歴史記念館記念講演「広瀬幸平と近代日本」末岡照啓氏 [新居浜市]（市高齢者生きがい創造センター）  地域活性化プロジェクト ポスターセッション [愛媛県教育委員会]（ひめぎんホール）  松山現地研修（松山城、坊っちゃん列車乗車、道後温泉本館周辺など）  『別子銅山展 in 東京』打ち合わせ（広瀬歴史記念館 久葉裕可館長）  四国ブロック・ユネスコ研究大会（松山：大和屋本館）[松山ユネスコ協会] 事例報告  『別子銅山展 in 東京』打ち合わせ（坪井利一郎氏）  1年次生 産業社会と人間「旧広瀬邸訪問事前学習」授業内で発表</p>
12	<p>第27回ESD 中学高校連携事業「別子銅山を学ぼう！」新居浜市立南中学校1年生136名  第7回地域教育実践交流集会 [代表：愛媛大学名誉教授 讃岐幸治氏]（国立大洲青少年交流の家）  「旧広瀬邸訪問」1年次生119人  県政広報番組『みきゃんと探そう！集まれ！えひめの愛顔キッズ』 南海放送取材  「高校生といっしょに別子銅山を探検しよう！in 角野」[角野公民館] 新居浜市立角野小学校6年生101名  『別子銅山展 in 東京』[愛媛県・新居浜市]（東京港区六本木 泉ガーデン）  パネルガイド、特別講演「未来へつなぐ別子銅山～地域の宝から世界の宝へ～」  文部科学省での活動発表（生涯学習政策局・日本ユネスコ協会国内委員会関係者）</p>
1	<p>大鉾祭 [住友企業・別子銅山親友会]（大山積神社）  長崎大学 大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 産学官連携研究員 小島健一氏との交流</p>
2	<p>文部科学省生涯学習政策局社会教育課企画官 水畑順作氏、  丹波市地域教育フォーラム実行委員 委員長 前川進介氏・実行委員 浅岡美希氏 ユネスコ部視察  高校生フェスティバル [新居浜市] での活動発表およびパネルディスカッション出演（銅夢にいほま）  地域活性化プロジェクト学習成果発表会 [愛媛県教育委員会]（愛媛県生涯学習センター）  新居浜グローバルパーティー [新居浜グローバルパーティーを楽しむ会・SGG]（新居浜ウイメンズプラザ）</p>
3	<p>別子銅山 Jr マイスター交流・学習会 [愛媛県東予地方局]（四国中央市）  第7回あかがねの道スタディーツアー [愛媛県東予地方局・ユネスコ部]</p>

## 4 実施内容

### (1) 地域の歴史と文化の理解

別子銅山の近代化産業遺産の現地研修や体験者からの聴き取り調査（オーラルヒストリー活動）、市内各所で開催される別子銅山の学習会などを通して、地域の歴史と文化の理解に努めた。

現地を直接訪れることで、先人の苦労や思いに直接触れることができた。また体験者からの聴き取り調査では、歴史的な学習だけでなく、世代を超えた交流を通して、その方の人生そのものについても学ぶことができた。また、地域の学習会の参加によって、新しい情報の収集や書籍・史料から読み取れなかった新しい知識を得ることができた。これらを通して、地域の良さを発見し、地域について探究心がめげばえ、学習意欲が高まるとともに、人との出逢いを広げ、人とのつながりの大切さも感じる事ができた。(写真1・2・3)



写真1 鉱山体験者からの聴き取り調査（4月）



写真2 別子銅山への現地研修登山（5月）



写真3 新居浜市立図書館での学習会（5月）



写真4 石見銀山への現地研修（8月）

さらに今年度は、アジア初の産業遺産として世界遺産登録となった石見銀山（島根県）への貴重な現地研修も行わせていただいた。現地の観光ガイドの方たちや地元の方との交流を通して、それぞれの地域の魅力発見や、人々の地元に対する熱い思い、人と人が伝えあうガイドの大切さも学ぶことができた。また、自分たちの郷土のすばらしさを再認識する機会ともなり、郷土への愛着をさらに深め、シビックプライドを育てることにつながった。(写真4)

### (2) 地域情報の発信および地域行事への参画

地域のさまざまな分野と連携・協働し、次のような地域情報発信活動を行った。

中学校はふるさと学習の一環として別子銅山への登山を行っている。そこでE S D 中学高校連携事業「別子銅山を学ぼう」と銘打って、各中学校へ出前授業を実施した。今年は市内10校のうち8校1,021人と学びを共にし、中学校から次年度の事業継続への期待の声もいただいた。(写真5)



新居浜市・地元観光業者等と連携して別子銅山の近代化産業遺産をテーマとした旅ツアー「産業観光・あかがねの道スタディーツアー」を企画・運営した。市内外より35名の参加があり、まだまだ未熟であるが高校生による懸命なガイドがご高評いただき、大変盛況であった。(写真6)

昨年度行った九州現地研修の様子を、新居浜ユネスコ協会との連携事業でイオンモール新居浜においてパネル展示した。市内で最も集客力のある場所での展示を行うことで、多くの方に別子銅山と同様な近代化産業遺産の魅力について知っていただく機会となった。(写真7)

愛媛県が開催した「瀬戸内しま博覧会・瀬戸内しまのわ2014」とあわせ、村上水軍博物館(今治市)で東予地方局が別子銅山のパネル展を開催した際、パネルガイドを務めさせていただいた。県内外の方にも別子銅山についてPRできるチャンスとなった。(写真8)

一般市民対象の新居浜生涯学習大学講座において、調査・研究報告の講座(2時間の講座2回)を実施した。大人の方たちが熱心に学ばれる姿を拝見し、生涯学習の大切さや自分たちの学びの姿勢も改めて考える機会となった。(写真9)

新居浜まちおこし委員会の主催で「天空から新居浜発見物語」展が市郷土美術館において開催された。この展示会は市内の上空写真を中心としたパネル展で、そのスタッフとして関わらせていただくことが、まちを学習する活動からまちづくりに関わる学習へと進める大きなステップの機会となった。(写真10)



写真5 中学校での出前講座(6月)  
市内8中学校に出向き1,021人が学んだ



写真6 あかがねの道スタディーツアー(6月)  
[連携:新居浜市・住友金属鉱山・別子銅山記念館・せとうち観光社・マイントピア別子等]



写真7 活動パネル展(イオンモール新居浜)(7月)  
[主催:新居浜ユネスコ協会]



写真8 「別子銅山パネル展 in しまなみ」(8月)  
[主催:愛媛県東予地方局]



写真9 新居浜市生涯学習講座での講師（8月）  
[主催：新居浜市生涯学習センター]



写真10 展示会準備の様子（8月）  
[主催：新居浜まちおこし委員会]

### (3) 地域課題への取り組み

#### ア 誰もが訪れやすいまちづくりのさらなる推進

NPO法人四国バリアフリーツアー協会と連携し、昨年度は市内の観光施設におけるバリアフリー現地調査を行い、調査した情報は新居浜市のWebサイトから利用していただいた。ただ、その調査は車椅子の利用者を意識したものであったことから、今年度はさらに踏み込んで高齢者や視覚障がい者対策などにも幅を広げるため、自らが疑似体験することで、調査の視野を広げる実践を行った。自身の心のバリアフリー化にもつながった。（写真11、写真12）



写真11 バリアフリー観光現地調査（4月）



写真12 高齢者疑似体験（4月）

#### イ 若者にまちの関心を高めてもらう工夫

愛媛県東予地方局は「別子銅山Jrマイスター養成講座」として、東予地区の高校生等を対象に、別子銅山の世界的意義などを学び、郷土に対する誇りを育み、魅力ある愛媛・東予の情報発信及び若い語り部の養成を目的に3年前より開催している。

その事業と連携して、別子銅山の近代化産業遺産の現地研修の際に、既に資格を有する本校生徒が講師となる場面もあり、受講者と相互に学びを深めることができた。（写真13）

今年度の養成講座受講者は今治北、丹原、西条、新居浜東、三島、本校の6高校から31名が参加、認証者は26名であった。なお、本校受講者の合格率は100%であった。（写真14）

ところで、さらなる課題となっていたのが『校内での関心の広がりをどのようにして持たせるか』ということであった。本校の創立50周年記念の学校行事のひとつとして「ウォークラリー」が開催され、別子銅山ゆかりの道を歩くこととなった。そこで、全校規模での事前学習会を行い実施することで別子銅山への関心を高めてもらう絶好の機会となった。（写真15・16）





写真13 別子銅山Jrマスター養成講座 (7月)



写真14 別子銅山Jrマスター認証記念写真 (8月)



写真15 ウォークラリー事前学習会 (10月)



写真16 ウォークラリーで鉄道跡を歩く様子(10月)

またその取組が更なる広がりを生むこととなった。角野公民館と連携した地元小学生(新居浜市立角野小学校6年生101名)とのワークショップ「高校生と一緒に別子銅山を探検しよう!」において、小学校周辺の別子銅山の産業遺産を巡る際に、児童の道中の安全を見守るボランティアとして16名の生徒が参加したことである。本校はもともと「ボランティアの南高」と地域から呼ばれているようにボランティアは盛んに行われているが、昨年の参加者は1名であった。ウォークラリーを端として地域への関心を高めてくれた証であると思う。(写真17・18)



写真17 小学生ワークショップの様子 (12月)



写真18 参加したボランティア生徒 (12月)

さらに特筆すべきは、昨年度の地域活性化プロジェクトで交流した今治北大三島分校との継続した交流である。今年度は、大三島での現地研修会とするとともに、今治北高校も参加し、3校合同の交流研修会となった。



今治北大三島分校の生徒たちに大山祇神社参道を中心とした商店街などを案内、各学校の取組や課題について話し合うなど、お互いに刺激し高め合えた。その後の活動の大きな原動力となった。(写真19・20)



写真19 今治北三島分校生徒によるガイド(7月)



写真20 3校合同現地交流研修会記念写真(7月)

また、昨年度交流した新居浜工業高等専門学校とも更なる連携を深めることができた。今年度は本校文化祭において、環境材料工学科の学生が松英達也教授の指導の下、出張講座「江戸時代の棹銅再現」を行っていただいた。生徒および保護者・地域住民には新たな別子銅山の魅力を知っていただく貴重な機会となった。(写真21・22)

なお、文化祭には愛媛県東予地方局による別子銅山パネル展の特別ブースの開設や愛媛県総合科学博物館・新居浜まちおこし委員会からの展示資料の提供など数多くのご支援やご協力もいただいた。(写真23・24)



写真21 本校文化祭での新居浜高専による棹銅再現(11月)



写真22 高専学生との交流記念写真(11月)



写真23 愛媛県東予地方局の展示ブース(11月)



写真24 総合科学博物館の四郎島模型展示(11月)

## ウ 交流人口を増やす

交流人口の増加を図るため、新居浜市では愛媛県東予地方局と共同主催し、昨年度の大阪に引き続き、今年度は東京において「別子銅山展」を開催、Jrマイスター資格を認定されたユネスコ部をスタッフとして派遣していただき、来場者に展示案内などを行った。4日間の期間中に約1,800名の来場があった。また、「未来へつなぐ別子銅山～地域の宝から世界の宝～」と題した特別講演の機会もいただき、100名余りの来場者の中、全国に向けて別子銅山や新居浜の魅力を発信できた。(写真25・26)



写真25 別子銅山展での特別講演の様子 (12月)



写真26 来場者への展示案内 (12月)

さらに光栄な機会となったのは、文部科学省においての活動報告であった。展示会直前に開催された地域教育実践交流集会(主催:愛媛大名譽教授 讃岐幸治氏)で文部科学省の関係者と交流する機会があり、「東京へ来るのなら活動報告をしてほしい」との依頼をいただいた。そこで、展示会最終日に文部科学省を訪問し、生涯学習政策局、国際統括官付、日本ユネスコ国内委員会関係者等を前に報告を行った。活動成果を全国に紹介してくださることや、各地の取組みとの連携の輪作りについてヒントもいただいた。このようなこともきっかけとして、私たちの取組を知り新居浜への来訪者が増えることを期待したい。(写真27・28)



写真27 文部科学省入り口での記念写真 (12月)



写真28 文部科学省内での活動報告 (12月)

また、県政広報番組「みきゃんと探そう! 集まれ! えひめの愛顔キッズ」(南海放送制作)において別子銅山の近代化産業遺産が紹介されることとなり、ユネスコ部員が番組出演させていただいた。この番組はインターネットでも県のホームページから閲覧できる。SNS等も活用することで、さらなる交流人口増加につなげられればと思う。番組は下記のアドレスより視聴できる。

愛媛県ホームページ内「ひめテレっ！」

『集まれ! えひめの愛顔キッズ 別子銅山編』(平成26年12月28日放送分)

<http://www.pref.ehime.jp/h12200/ehimenettv/3ch/261228.html>



番組収録後、出演者の児童にお土産として別子銅山の銅鉱石をプレゼントした。家族や友達との話題づくりや再来訪のきっかけになればと願っている。(写真29・30)



写真29 番組収録の様子 (12月)



写真30 番組収録後に銅鉱石をプレゼント (12月)

ところで、今年3月には東予地方局と連携した「あかがねの道スタディーツアー」を開催予定である。当初、昨年10月に実施を予定していたが、台風により延期となっていた。今回のツアーは、広島県・尾道市からバスを出し、途中、松山・今治方面の乗車も行う企画で、まさに交流人口を呼び込むツアーである。東京での別子銅山展や文部科学省でもツアーについて宣伝させていただいた。遠くは東京からの集客も期待したい。(写真31・32)

**別子銅山 近代化産業遺産 山・浜・島 あかがねの道スタディーツアー**

第1回観光甲子園で準グランプリを獲得した 愛媛県立新居浜南高等学校ユネスコ部がプロデュース (別子銅山 近代化産業遺産「マイスター選定」)

別子銅山300年の歴史を先人の想いと共に **マインドへ**

私たちが楽しくガイドします!

★ぜひ、来てくださいね!★

主催：愛媛県東予地方局・愛媛県立新居浜南高等学校ユネスコ部

写真31 ツアーのチラシ表面

**別子銅山産業遺産、スタディーツアー**

《旅行日程》 平成27年3月14日(土)～3月15日(日)

《旅行代金》 **お一人様 9,500円(1泊朝食・昼食付)**

《集合場所/時間》 尾道駅...7時50分 / 今治駅...9時

《その他》 定員 30名(最少催行人員 25名)

8:00	8:00	9:10	9:20	9:30	
尾道駅	しまなみ海路	早島海城 5-A	今治駅	新居浜IC	
	※【乗車】		※【トイレ休憩】	※【乗車】	
10:30	12:00	12:10		14:30	14:30
別子銅山産業遺産	マイントピア別子	瑞穂橋(別子鉄業・焼内鉄道)		広島歴史博物館・別子銅山	
	※【乗車(本内村)】	※【美】	※【にだけり遊覧】	※【高校生ガイドの本内村】	※【本内村】
16:40	16:50		18:50	19:00	19:30
新居浜港	瑞穂橋(別子鉄業・焼内鉄道)	新居浜港	今治市内(白)	西条歴史博物館	
	※【乗車】	※【瑞穂橋にてクルージング(工運村)乗船料】	※【下車】	※【夕食は各自自由でOK】	
8:30	9:00	9:10	9:40		11:00
市川	マイントピア別子		マイントピア別子	東洋(別子鉄業・インクライン橋・歴史資料館)	
	※【小型バス乗車】		※【乗車】	※【東洋のマスコットキャラクターの産業遺産多岐内付自由乗車】	
11:30	12:00		12:30	12:30	15:20
尾道歴史資料館		新居浜市内(山田社宅・瑞穂橋)		アサヒビール(西條工場)	
	※【特別公開(本内村)】	※【乗車】		※【ランチカン】	
13:00	14:20	14:40	15:30	15:50	16:00
尾道IC(尾道市)		タオル美術館(IC+車中)		今治駅	
	※【お買物・トイレ休憩】	※【西日本新大船橋を待たす】		※【下車】	※【下車】

《注意事項》

- 天候や交通状況により、行程や日程が変更になる場合があります。
- 当日の旅行代金をお支払い下さい。お手数ですがお釣りのない様にご協力お願いします。
- 当日お買物は乗車します。ガイドとして新居浜港の船をガイドいたします。
- タオル美術館の無料貸出(各自由)になります。
- ホテルの部屋は1名1室がメインになります。場合によっては2名1室の場合もあります。
- お買物は1名1室までです。船は3名乗車になります。

《キャンセル料について》お買物前日のキャンセルは下記になります。

20日～前日	7日～前日	前日	当日	出発日
20%	30%	40%	50%	100%

【申込先】興せとうち観光社 新居浜営業所 担当 松本 直 (0897) 37-3580  
※申込締切 3月2日(月)(定員になり次第締切)

主催：愛媛県東予地方局【協賛】東予の誇れる産業遺産(たから)活用促進事業  
新居浜南高等学校ユネスコ部【ツアー企画・ガイドを企画】一員様へ

写真32 ツアーのチラシ裏面(旅程等)

## 4 成果と課題

### (1) 成果

プロジェクトを通して、情報の収集や整理する能力が高められ、さまざまな分野の方たちとの交流の中でプレゼンテーション力が鍛えられ、企画力や実践力が磨かれていった。地域の方々との心と心の絆を今まで以上に広げ、深められたことで、人としての思いやりや優しさ、シビックプライドを育み、より高めることができた。

特に、昨年度から継続して交流を深められた今治北高校大三島分校、さらには今治北高校、また新居浜工業高等専門学校、J r マイスター受講生等、同年齢の交流や連携は本プロジェクトの大きな成果である。この成果は地域を活性化する大きなエネルギーとなるのは必至である。

そして、学校内における意識の高揚も成果として挙げられる。

### (2) 課題

今後は地域とのさらなる広がりや深まりを求め、いかに持続発展可能な取組として行けるか、ということである。新居浜市では全ての小・中学校のユネスコスクール認定を進めている。小・中学校との連携強化をより一層進め、地域の学びを未来つないで行くこと、このことが、例え進学や就職でまちを離れてしまっても、いつか故郷へ帰ってきたいまちとなる。（ふるさと回帰）

世界に誇れるすばらしい郷土の財産である別子銅山の魅力を伝えていくこと、その学びが感動を呼び、次の発信者をつくり、また次の学びへとつながっていく。その仕組みとなるESD（持続発展可能な地域づくりの学び）のサイクルを構築し、地域活性化を目指したい。